第16回

地域医療を守る運動 全国交流集会

11:00 開会
（主催者挨拶／実行委員会）

11:10 記念講演
新・地域医療構想と
加速する病床削減
～医療体制の危機を考える～

長友（ながとも） 薫輝（まさてる）氏（佛教大学准教授）

プロフィール
1975年宮崎県生まれ。自治体問題研究所理事、日本医療総合研究所副理事長、総合社会福祉研究所理事、日本医療福祉政策学会幹事。
主な著書『全世代型社会保障改革とは何か』2025年、『コロナ禍で見えた保健、医療、介護の今後』2022年など。

13:30 基調報告

14:00 特別報告

14:55 各地の取り組み報告

16:30 閉会挨拶

17:00 有志交流会

日時
2025年 11月24日（休・月）
11:00～16:30（閉会予定）
※希望者のみ 交流会あり（参加費：5,000円）

ところ（オンライン併用）
平和と労働会館2階ホール

参加費（オンラインは無料）
現地参加・資料代 1,000円

参加申込み
https://x.gd/6P9eU

集会現地参加申込締切　11月14日（金）
集会オンライン参加申込締切　11月21日（金）

政府が進める 2040年に向けた「新たな地域医療構想」では、「医療提供体制全体（外来・在宅・介護等を含）を対象として、地域の医療提供体制全体の将来のビジョン・方向性、医療機関機能に着目した医療機関の機能分化・連携、病床の機能分化・連携等に関する事項を定めるもの」となることから、「医療計画の上位概念」と位置付けられています。また、財界からの要請も強く、医療費抑制の一環の中で、医療から介護、介護から地域・自治体へのシフト、そして、より無償の労働力（地域住民ボランティアなど）への代替が狙われています。政府がすすめる国民負担軽減のための医療費抑制と言いながら、医療を受ける権利を奪おうとしている現状は看過できません。

各地での医療―介護―地域へと国が押し付ける医療提供体制縮小の実態や地域医療を守る各地の取り組みや経験を交流し、住民が作る地域医療提供体制の構築で住み続けられるまちづくりにつなげるため、運動をすすめます。

主催 「第16回地域医療を守る運動全国交流集会」実行委員会
実行委員会団体 日本医療労働組合連合会／中央社会保障推進協議会／日本自治体労働組合総連合
事務局 日本医療労働組合連合会　TEL03-3875-5871　ホームページhttp://www.irouren.or.jp/　E-mail：n-iryoumamoru@irouren.or.jp